しまねの土地改良だより

平成24年5月1日発行　水土里ネット島根

■ 全国農業用水小水力発電推進協議会が発足

農業用水を活用した小水力発電を実施、または導入を検討している全国の市町村、土地改良区、県土連等々参加する「全国農業用水小水力発電推進協議会」の設立総会が、平成２４年４月２５日東京都において開催されました。

この協議会は、農業用水を活用した小水力発電を総合的に推進し、農村地域資源の有効利用と再生可能エネルギー供給システムの実現を図るとともに、農業・農村の活性化と持続可能な社会に資することを目的に設立されたものであり、全国の３０７団体がその趣旨に賛同し会員となり、当日は６０名（委任状除く）の出席がありました。尚、島根県では７団体が加入しています。

議事は、先ず規約（案）が諮られ、協議会の名称について、同種の協議会が地域ごとにあることから、最初に「全国」を付けることが決議されました。次にブロック毎に役員が８名選出され、会長には愛知県土地改良事業団体連合会の神谷金米衛氏が選任されました。

本協議会は、これから小水力発電に関する情報収集・調査・研究、施策等の提案・要請活動等を行うこととなりましが、早速翌日要請活動を行うこととなり、①既存設備への固定価格買取制度の適用②適切な調達価格、調達機関の設定③関連法規制等の緩和を主な内容とする要望書案も承認されました。

今後とも農業用水を活用した小水力発電が県内各地で積極的に導入され、農業・農村の活性化と持続可能な社会に少しでも貢献できるよう、各団体におかれましては、本協議会へ積極的に加入していただきますようお願い致します。

・全国農業用水小水力発電推進協議会が発足 …… 1
・農地・水保全管理支払交付金に係る意見交換会開催 …… 2
・全国水土里ネット副会長段本氏お別れの会 …… 2
・東日本大震災・原発災害の説明に来県（福島県土連から） …… 2
・新たな土地改良長期計画の重点的な取組と目指す姿 …… 3
・「しまねの農村景観フォトコンテスト」入賞作品展示・表彰式 …… 4
・第３５回全国土地改良大会沖縄大会について …… 4
・今後の主な予定 …… 4
・新規職員自己紹介 …… 4

■ 農地・水保全管理支払交付金に係る意見交換会開催

島根県農業農村整備推進協議会（会長　宇津徹男浜田市長）及び島根県農地・水環境保全協議会（会長　長岡秀人出雲市長）は、農地・水保全管理支払交付金の島根県への予算配分枠提示を受けて急々に「予算配分枠の増額と今後の展開」について、平成２４年４月１９日、中国四国農政局にて、中国四国農政局整備部島田部長外幹部との意見交換会を県・市町・土連の計１３名参加により開催しました。

当日は、水土里ネット島根田中専務理事から本日の意見交換についての要旨説明挨拶、中国四国農政局島田部長挨拶の後、意見交換会に入りました。

始めに、島根県農村整備課石井課長より、県内農地・水保全管理支払交付金の取組状況、平成２４年度要望量、配分枠等について説明がなされ、その後参加された７市町の方々から、向上活動に対する昨年からの取り組みの実情や今後どう対応したらよいか等々の発言がありました。

中国四国農政局からは、農地・水関係の国全体の予算では１１７％とのびているが、全国的に要望量が多く、どの県でも不足しているとの声が多く、増額は見込めない状況であるとのこと。向上活動については、上限の以内申請等、いまある配分枠の中でどう運用していくのか検討していただきたいとの説明がありました。

■ 東日本大震災・原発災害の説明に来県（福島県土連から）

平成２４年４月１８日、福島県土連茂木功一専務理事と佐久間総務課長の２名が来会され、福島の震災・原発災害の被災状況、その後の復旧復興状況の説明がありました。

丁度昨年の４月１８日から１週間、本会から２名の職員を福島県へ派遣し、農業集落排水施設の震災被害調査を応援していましたので、そのお礼も兼ねて来会されました。

農地・農業用施設の被害は、大震災でも甚大な被害でありましたが、さらに昨年７月２９日の新潟・福島豪雨災害、９月２０日の台風１５号災害と立て続けて被災されたとのご報告を受け、放射性物質による農業等への被害も重なり、未だ大変厳しい状況であるとの報告を受けました。

今後とも、少しでもご支援できることがあれば積極的に支援して行くよう努めていきます。

■ 全国水土里ネット副会長段本氏お別れの会

平成２４年４月２６日午後１時３０分から、東京都千代田区「海運ビル」にて、全国水土里ネット副会長、元参議院議員、元島根県耕地課長（昭和５９年～６３年在職）段本幸男氏（享年６７歳）のお別れの会がしめやかに執り行われました。

お別れの会には、谷垣総裁始め、たくさんの国会議員、農林水産省現職・ＯＢ、各県土連関係者約６００人が参列され、追悼の言葉には、島根でのご活躍と、第二のふるさと島根への想いの披露もありました。ご冥福をお祈り致します。

2. 新たな土地改良長期計画の重点的な取組と目指す姿　（平成24年3月30日閣議決定）

（計画期間：平成24～28年度）

基本理念：「食を支える水と土の再生・創造」

政策課題	政策目標	重点的な取組
Ⅰ．農を「強くする」 ～地域全体としての食料生産の体質強化～	1．農地の大区画化・汎用化等による農業の体質強化	○地域の中心となる経営体への農地集積を加速化する整備に重点化した大区画化・汎用化の推進 【重点指標①】 ○基盤整備実施地区における地域の中心となる経営体への農地集積率　約8割以上 （地域の中心となる経営体が耕地面積の大宗（8割）を占める構造の実現に資するため、基盤整備実施地区においても農地集積率を8割とする。現在の中心的な経営体は、大区画ほ場を15%程度有していることに照らし、全国の大区画ほ場の割合も15%程度に引き上げる（大区画水田　20万ha→40万ha）。）
	2．農地・水等の生産資源の適切な保全管理と有効利用による食料供給力の確保	○基幹的農業水利施設の長寿命化対策 【重点指標②】 ○基幹水利施設の機能診断済みの割合（再建設費ベース）　約4割（H22）→約7割（H28） （国営施設の9割、県営施設の5割で機能診断を了することにより、老朽施設の長寿命化を促進）
Ⅱ．国土を「守る」 ～震災復興、防災・減災力の強化と多面的機能の発揮～	3．被災地域の災害に強い新たな食料供給基地としての再生・復興	○農地・農業用施設の災害復旧の推進 【重点指標③】 ○震災の被災地域における営農再開が可能となる農地の面積　約1．9万ha （農業・農村の復興マスタープランに基づき、H26年度までに警戒区域等を除く概ねすべての農地で営農再開）
	4．ハード・ソフト一体となった総合的な災害対策の推進による災害に強い農村社会の形成	○防災・減災対策の推進 【重点指標④】 ○老朽化したため池の整備や排水機場の改修等による農地における湛水被害等の災害のおそれの解消　約10万ha以上 （今後、農地等に甚大な被害を及ぼすおそれのあるため池等を早急に改修することにより、農地約10万haの湛水被害等を防止）
	5．農地の整備、安定的な水利システムの維持や農村環境の保全等による農業・農村の多面的機能の発揮	○優良農地の維持、美しい農村環境の保全・創出等による多面的機能の発揮 （2の基幹水利施設の長寿命化、4の防災・減災対策の推進、7の美しい農村環境の保全・創出等により対応）
Ⅲ．地域を「育む」 ～農村の協働力や地域資源の潜在力を活かしたコミュニティの再生～	6．地域の主体性・協働力を活かした地域資源の適切な保全管理・整備	○地域協働による農地・農業用水の保全管理 【重点指標⑤】 ○非農家等の多様な主体の参加による地域共同活動への参加者数　延べ約1，000万人・団体以上 （農地・水保全管理支払等の地域共同活動による農地・農業用水等の保全管理・整備を引き続き推進（1000万人・団体は農業就業人口261万人（H22）の約4倍）
	7．小水力発電等の自立・分散型エネルギーシステムへの移行と美しい農村環境の再生・創造	○小水力発電等の再生可能エネルギーの生産 【重点指標⑥】 ○小水力発電等の再生可能エネルギーの導入に向けた計画作成に着手済みの地域　約1，000地域 （これまでに事業により再生可能エネルギーを導入した47地域に対して約20倍）

■ 「しまねの農村景観フォトコンテスト」入賞作品展示・表彰式

島根県と水土里ネット島根が共催で開催しております「第１５回しまねの農村景観フォトコンテスト」入賞作品展示及び表彰式を下記にて実施します。

季節感あふれる、感動的な作品が多数展示していますし、また入場無料ですので、期間中お近くへお出かけの際は是非ご覧下さい。（表彰式時間中も通常通り観賞できます）

・入賞作品展示（３４点）
　場　所：島根県芸術文化センター「グラントワ」多目的ギャラリー
　期　間：平成２４年５月３０日（水）～６月５日（火）
・表彰式
　場　所：島根県芸術文化センター「グラントワ」多目的ギャラリー
　日　時：平成２４年６月３日（日）午後１時００分～午後２時

■ 第３５回全国土地改良大会沖縄大会について

第３５回全国土地改良大会が、今年度は沖縄県那覇市にて、１１月２１日（水）開催されることになりました。会員の皆様への参加案内は、６月始めを予定しておりますので、今暫くお待ち下さい。

■ 今後の主な予定

５月１１日	大塚地区農地整備事業（経営体育成型）起工式（安来市）
１７日	島根県農村災害支援協議会総会（本会）
２４日	島根県農地・水環境保全協議会理事会（本会）
	島根県農地・水環境保全協議会総会（本会）
	県土連第１回理事会（本会）
２５日	県土連第１回監事会・監査（本会）

■ 新規職員自己紹介

この度、水土里ネット島根に採用となりました松本浩志と申します。

私は、以前から島根県の農業に貢献できる仕事に就きたいと考えておりました。大学時代には農業土木関係の知識や技術を学び、今こうして自分が目指した職場に就職できたことを大変嬉しく感じております。まだまだ未熟者ではございますが、一日でも早くより一層の技術や知識を覚え、島根県の農業に貢献できるよう努力して参りたいと思っております。よろしくお願いいたします。（所属　技術支援グループ）

水土里ネット島根　（島根県土地改良事業団体連合会）
〒690-0876　島根県松江市黒田町 432-1　島根県土地改良会館　TEL 0852-32-4141
ホームページ http://www.shimanedoren.or.jp/　メール smndoren@shimanedoren.or.jp